

2020年 3月期 決算説明会



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



平成27年度
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



対策活動実践・普及部門



株式会社エフピコ
2020年 5月8日

本資料取扱のご注意

掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

=目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	専務取締役経理財務本部長	池上 功	4
◆ <u>企業価値拡大へ向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	14
◆ 添付資料			62

2020年3月期 決算概要

専務取締役 経理財務本部長
池上 功

決算概要

(2020年3月期 実績)

単位: 百万円	通期 実績						通期 計画			
	2019年3月期		2020年3月期				2020年3月期			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比
トレー	33,121	18.3	36,263	19.5	+3,142	109.5%	105.7%	34,800	18.7	104.2%
弁当・惣菜	101,108	55.8	103,541	55.6	+2,433	102.4%	102.6%	103,660	55.7	99.9%
小計	134,229	74.1	139,804	75.0	+5,575	104.2%	103.6%	138,460	74.4	101.0%
その他製品	3,350	1.8	3,027	1.6	△322	90.4%		3,340	1.8	90.6%
製品売上高	137,579	75.9	142,831	76.6	+5,252	103.8%		141,800	76.2	100.7%
包装資材	36,823	20.3	37,892	20.3	+1,068	102.9%		37,800	20.3	100.2%
その他商品	6,768	3.7	5,626	3.0	△1,142	83.1%		6,400	3.4	87.9%
商品売上高	43,592	24.1	43,518	23.4	△74	99.8%		44,200	23.8	98.5%
売上高	181,171	100.0	186,349	100.0	+5,178	102.9%		186,000	100.0	100.2%
営業利益	13,949	7.7	15,507	8.3	+1,557	111.2%		15,500	8.3	100.0%
経常利益	14,861	8.2	16,274	8.7	+1,412	109.5%		16,000	8.6	101.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	9,901	5.5	10,777	5.8	+876	108.9%		10,600	5.7	101.7%

- 過去最高
- ✓ 売上高
10期連続増収
- ✓ 営業利益・経常利益
2期連続増益

◇実績前年比

	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	通期 実績	通期 期初計画
製品売上高	102.6%	105.7%	101.7%	105.7%	103.8%	103.1%
製品枚数	100.8%	105.4%	102.5%	106.1%	103.6%	103.0%
経常利益	119.3%	111.9%	104.7%	106.7%	109.5%	107.7%

償却前経常利益 28,031 29,807 +1,775 106.3% 29,730 100.3%

■ 販売

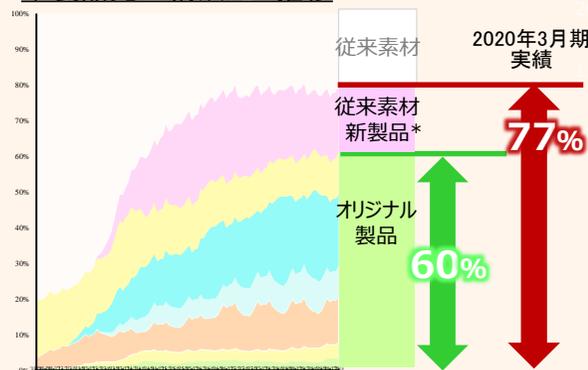
製品>

- ・エコ製品、電子レンジ対応製品の販売が好調
- ・人手不足対応など、高付加価値製品の拡充
- ・巣ごもり消費の拡大に伴い
生鮮・宅配・テイクアウトの需要増加

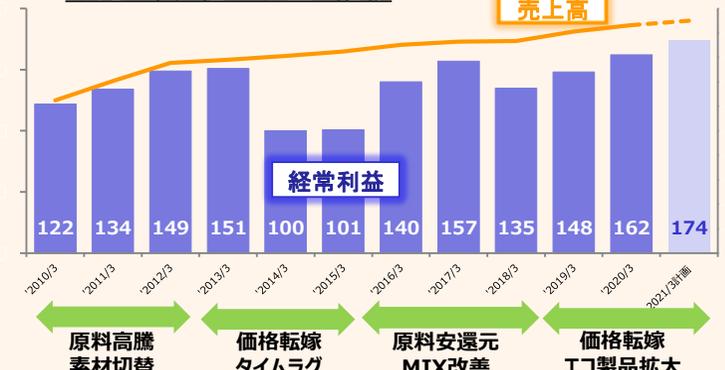
商品>

- ・ECサイト「パックマーケット」を活用し
小規模小口顧客への販売拡大
- ・MD商品の拡大強化

◇製品売上構成比 推移



◇売上高・経常利益 推移



経常利益 利益増減実績 (2020年3月期)

単位：億円

2019年3月期

通期 148.6

上期

下期

上期 64.8

下期 83.8

原料価格 **+7.7**

10/31時点
見通し対比
+2.7

バージン 原料 +9.5
エコAPET原料 -0.3
副資材 -1.5

+2.5

+5.2

販売価格 **+10.5**

+10.5

±0.0

販売活動 **+8.5**

+3.5

+5.0

生産 **+2.5**

+1.0

+1.5

物流 **-7.5**

改善効果 +11.8
人件費・労務費 -7.6
減価償却費 -2.6
電力料 +3.5
運送費 -8.0

-4.0

-3.5

グループ会社 **+2.1**

+2.0

+0.1

経費増減 **-9.7**

人件費 -3.0
減価償却費 -0.9
その他 -5.8

-5.9

-3.8

前期比

+14.1

上期 +9.6

±0.0

下期 +4.5

+2.7

2020年3月期

上期 74.4

下期 88.3

通期 162.7

設備投資・研究開発費

(2020年3月期 実績)

単位:百万円	通期 実績				通期 計画	
	2019年3月期 実績	2020年3月期			2020年3月期	
		実績	増減	前年比	計画	計画比
有形固定資産	13,442	11,688	△1,754	86.9%	17,700	66.0%
無形固定資産	595	525	△69	88.3%	300	175.3%
設備投資	14,038	12,214	△1,824	87.0%	18,000	67.9%
減価償却費	13,170	13,532	+362	102.8%	13,730	98.6%
研究開発費	1,159	1,229	+70	106.1%	1,310	93.9%

【主な設備投資】

再生原料及び製品の能力増強・効率改善・品質向上

- ◆ エコAPET原料 生産能力増強(関東・九州)
- ◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部・九州)
- ◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部)

- ◆ エコAPET製品 シート押出・成形能力増強
- ◆ PSP製品 成形能力増強
- ◆ 自動化設備の導入

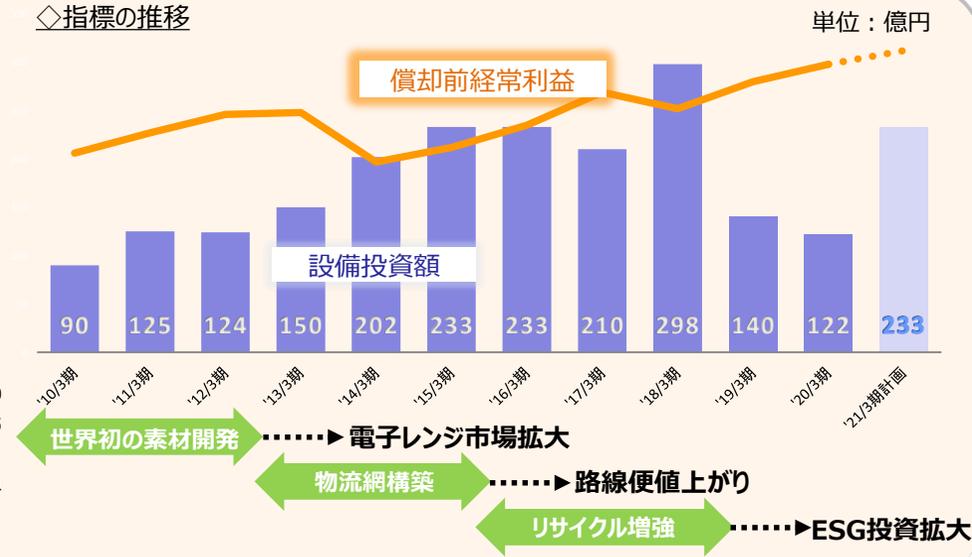
安定供給・働く環境整備

- ◆ 福山新配送センター
- ◆ 中部新配送センター
- ◆ 古河独身寮
- ◆ 福山独身寮・グループホーム
- ◆ 金型
- ◆ IT投資

単位:百万円 2020年3月期
投資総額 通期計画 通期実績 主な計画差異

	2020年3月期 投資総額	2020年3月期 通期計画	通期実績	主な計画差異
再生原料及び製品の能力増強・効率改善・品質向上				
◆ エコAPET原料 生産能力増強(関東・九州)	1,050	280	384	
◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部・九州)	420	420	350	
◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部)	600	160	473	
◆ エコAPET製品 シート押出・成形能力増強	2,200	1,860	1,801	
◆ PSP製品 成形能力増強	1,240	1,240	1,227	
◆ 自動化設備の導入		630	302	
安定供給・働く環境整備				
◆ 福山新配送センター	2020年11月 完成予定	4,345	1,260	500 △ 760
◆ 中部新配送センター	2021年7月 完成予定	5,285	1,320	105 △ 1,215
◆ 古河独身寮	2020年3月 完成	611	580	579
◆ 福山独身寮・グループホーム	2020年10月 完成予定	1,054	1,000	116 △ 884
◆ 金型			1,870	1,756
◆ IT投資			600	710

◇指標の推移



貸借対照表

(2020年3月期 実績)

単位: 百万円	2019年3月期 2019/3/31	2020年3月期		主な増減内訳
		2020/3/31	増減 前年比	
流動資産	84,647	80,322	△4,324 94.9%	現金及び預金 +1,136 受取手形及び売掛金 △4,288 未収入金 △1,022
固定資産	164,684	162,174	△2,510 98.5%	
資産合計	249,332	242,497	△6,835 97.3%	
流動負債	76,854	79,569	+2,715 103.5%	買掛金 △1,644 短期借入金 +6,056
固定負債	60,279	43,626	△16,653 72.4%	長期借入金 △15,694
負債合計	137,133	123,196	△13,937 89.8%	
純資産合計	112,198	119,301	+7,102 106.3%	利益剰余金 +7,429
負債純資産合計	249,332	242,497	△6,835 97.3%	

自己資本比率 49.0%

- 資産 オリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化
事業拡大に向けた機動的な対応への備え



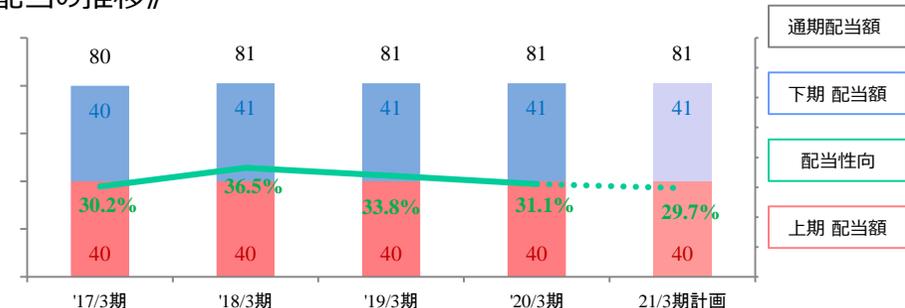
キャッシュ・フロー

(2020年3月期 実績)

単位:百万円	通期	
	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績 主な内訳
営業活動によるC/F	25,510	27,770 税金等調整前当期純利益 15,972 減価償却費 13,532 売上債権の増減額 4,272 仕入債務の増減額 △ 1,644 法人税等の支払額 △ 5,588
投資活動によるC/F	△ 17,109	△ 10,989 有形固定資産の取得 △ 10,654
フリーキャッシュフロー	8,400	16,780
財務活動によるC/F	△ 4,908	△ 15,643 長期借入れによる収入 6,099 長期借入金の返済 △ 15,738 リース債務の返済 △ 2,645 配当金の支払額 △ 3,349
現金及び現金同等物の増減額	3,492	1,136
現金及び現金同等物の期末残高	19,151	20,288

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》



2021年3月期 計画

決算計画概要 (2021年3月期 計画)

	通期 実績		通期 計画				上期 計画				
	2020年3月期		2021年3月期				2021年3月期				
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比	
単位:百万円											
トレー	36,263	19.5	37,775	19.9	+1,511	104.2%	18,625	19.6	+950	105.4%	
弁当・惣菜	103,541	55.6	105,530	55.5	+1,988	101.9%	52,755	55.6	+1,181	102.3%	
小計	139,804	75.0	143,305	75.4	+3,500	102.5%	71,380	75.2	+2,132	103.1%	
その他製品	3,027	1.6	2,895	1.5	△132	95.6%	1,520	1.6	△61	96.1%	
製品売上高	142,831	76.6	146,200	76.9	+3,368	102.4%	72,900	76.8	+2,070	102.9%	
包装資材	37,892	20.3	38,340	20.2	+447	101.2%	19,230	20.3	+13	100.1%	
その他商品	5,626	3.0	5,460	2.9	△166	97.0%	2,770	2.9	△86	97.0%	
商品売上高	43,518	23.4	43,800	23.1	+281	100.6%	22,000	23.2	△72	99.7%	
売上高	186,349	100.0	190,000	100.0	+3,650	102.0%	94,900	100.0	+1,998	102.2%	
営業利益	15,507	8.3	16,700	8.8	+1,192	107.7%	7,820	8.2	+725	110.2%	
経常利益	16,274	8.7	17,400	9.2	+1,125	106.9%	8,110	8.5	+664	108.9%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,777	5.8	11,290	5.9	+512	104.8%	5,213	5.5	+370	107.7%	

償却前経常利益 29,807 31,296 +1,488 105.0% 14,969 +820 105.8%

■ 販売

- 製品> ・エコ製品、電子レンジ対応製品の販売拡大
・宅配、給食、冷凍など新マーケットへの高機能製品提案

出荷枚数 : 前年比103%の伸長
トレー容器 : エコ製品を中心に販売拡大
弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品に加え、魅力的な売り場づくりとバックヤードの効率化をサポートする新製品の提案

商品> マーチャндаイジング・物流・ITインフラを活用し、小規模小口顧客への販売強化

◇ 生産

- ・エコAPET原料の生産能力強化
- ・産業用ロボット導入による省人化

◇ 物流

- ・自社物流活用と積載効率改善によるコスト上昇抑制
- ・倉庫オペレーションの自動化

◇ ESG

- ・地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

経常利益 利益増減 見通し (2021年3月期計画)

期初時点

単位：億円

上期	下期
----	----

2020年3月期
通期 162.7

上期 74.4 下期 88.3



2021年3月期
上期見通し 81.1 下期見通し 92.9

通期見通し 174.0

原料価格 +16.0

※ナフサ連動の販売先への売価影響を含む
(上期+11.0、下期+5.0)

販売活動 +8.0

(上期+4.0、下期+4.0)

生産 -3.0

(上期-2.0、下期-1.0)

物流 -1.0

(上期-0.5、下期-0.5)

グループ会社 ±0.0

(上期-1.5、下期+1.5)

経費増減 -8.7

(上期-4.3、下期-4.4)

改善効果	+7.4
人件費・労務費	-10.1
減価償却費	-1.9
電力料	+0.9
運送費	-0.3

人件費	-2.8
減価償却費	-1.7
その他	-4.2

設備投資・研究開発費 計画 (2021年3月期 計画)

	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2020年3月期	2021年3月期			2021年3月期		
単位: 百万円	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	11,688	22,850	+11,161	195.5%	10,400	+5,970	234.8%
無形固定資産	525	450	△75	85.6%	200	+18	110.2%
設備投資	12,214	23,300	+11,085	190.8%	10,600	+5,989	229.9%
減価償却費	13,532	13,900	+367	102.7%	6,860	+157	102.3%
研究開発費	1,229	1,312	+82	106.7%	646	+48	108.1%

【主な設備投資】

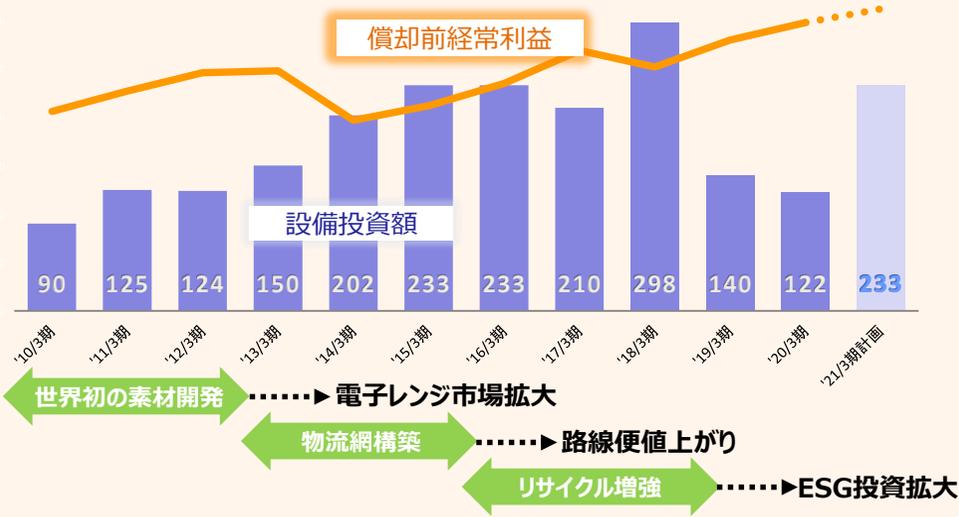
単位: 百万円 投資総額 2021年3月期 計画

オリジナル製品への投資: エコAPET製品の生産能力・品質向上

◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)		676	676
◆ エコAPET原料 ペレット化による品質向上(中部)		810	337
◆ エコAPET製品 成形能力増強		408	408
◆ エコAPET原料・製品 新工場土地(関西) 2020年 5月 取得予定		1,815	1,633
販売量拡大への投資: 安定供給・効率改善・働く環境整備			
◆ 自動化設備の導入			637
◆ 従来素材製品能力増強		1,462	1,462
◆ 九州配送センター増築	2020年 9月 完成予定	659	581
◆ 福山配送センター増築	2020年 11月 完成予定	4,345	3,845
◆ 中部配送センター増築	2021年 7月 完成予定	5,285	2,662
◆ グループホーム	2020年 4月 完成	195	93
◆ 福山独身寮	2020年 10月 完成予定	435	388
◆ 金型			1,874
◆ IT投資			532

◇指標の推移

単位: 億円



企業価値拡大へ向けて

代表取締役社長

佐藤 守正



株式会社 **エフピコ**

マーケットの状況



新型コロナウイルスの影響：小売の変化

外食から中食・内食へ

外食減少



中食・テイクアウト
増加



内食増加



宅配増加



バラ販売からパック販売へ

バラ販売縮小



パック販売増加



新型コロナウイルスの影響：容器需要動向

増加



人手不足対応：開けやすく閉めやすい
かん合フードパック



内食増加
精肉



汁漏れしにくい・保温性
デリバリー・テイクアウト



フードロス対策
ロングライフ

減少



行楽・イベント用



駅弁・会議用



新型コロナウイルスの対策：食生活を支える企業として



安全・安心な食の提供

空気中の雑菌やウイルスから食品を守る



製品の安定供給

自社
物流
97.4%
2020年3月時点



受注体制
継続

テレワーク実施

- EDI率 約**98.4%**
2020年3月時点
- コールセンター活用
- モバイル端末
185台追加



原材料の価格動向

国内一般PS価格



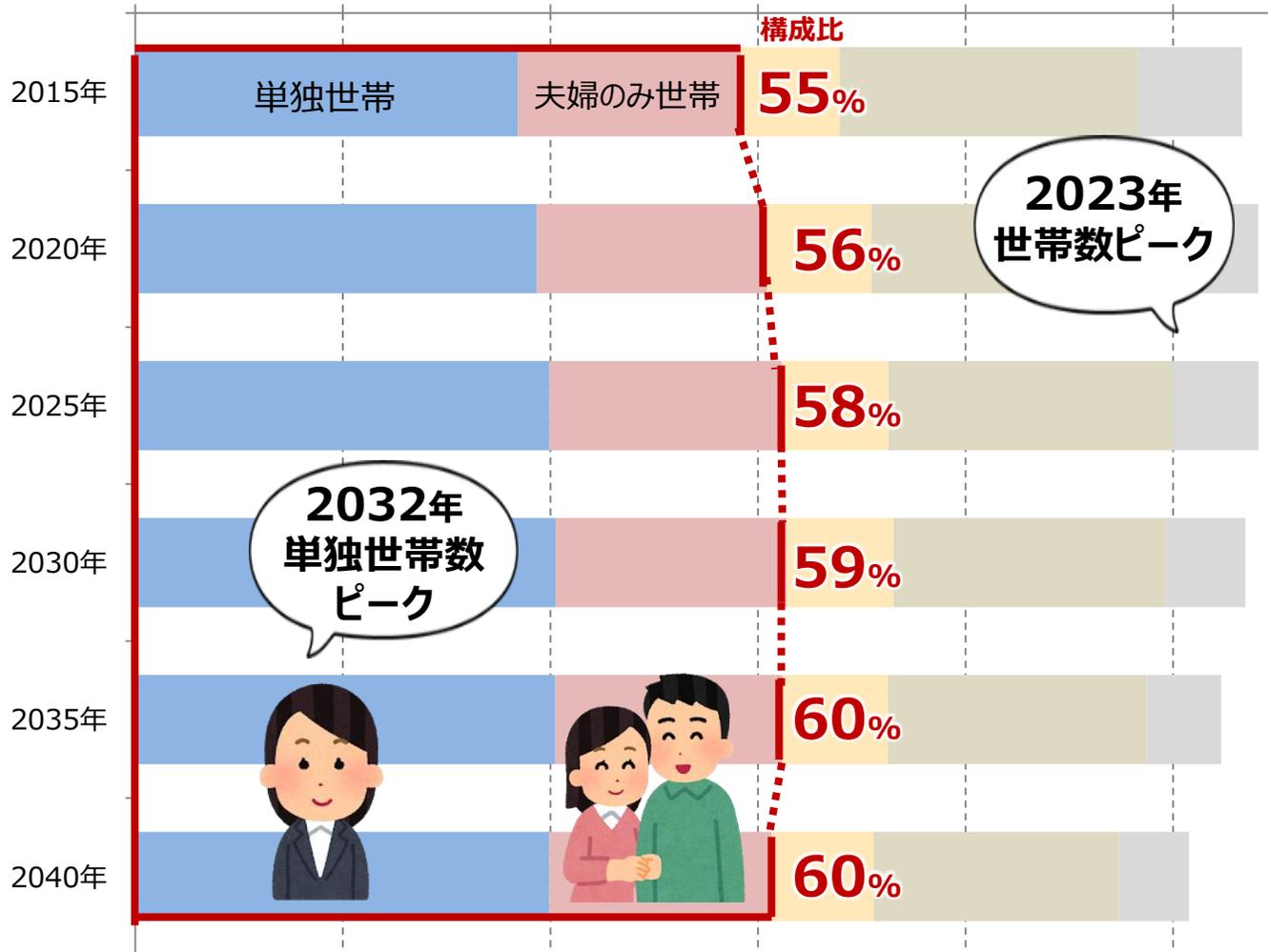
国内一般PET価格



第2四半期以降
値下がり見込

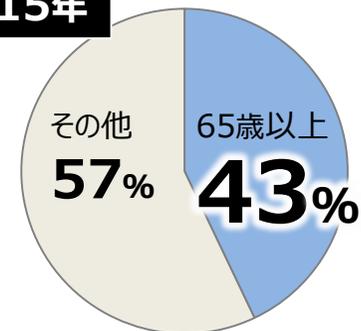
世帯数の推移

- 単独世帯
- 夫婦のみの世帯
- ひとり親と子から成る世帯
- 夫婦と子から成る世帯
- その他の一般世帯



単独世帯・夫婦のみ世帯における65歳以上の割合

2015年



2040年



25年で9%増加



中食市場規模推移



2018年度
中食市場
 約 **10.3**兆円

内食 約35.3兆円



外食 約25.6兆円



大手食品メーカー



今後の成長マーケット

家庭用冷凍食品

約 **3,200** 億円
 2019年



出典：一般社団法人 日本冷凍食品協会「冷凍食品の国内生産及び消費」

デリバリー

約 **3,000** 億円
 2019年 (見込)



出典：富士経済「外食デリバリー&テイクアウトサービス市場の将来展望2019」

テイクアウト

約 **6,000** 億円
 2019年 (見込)



出典：富士経済「外食デリバリー&テイクアウトサービス市場の将来展望2019」

高齢者向け施設給食

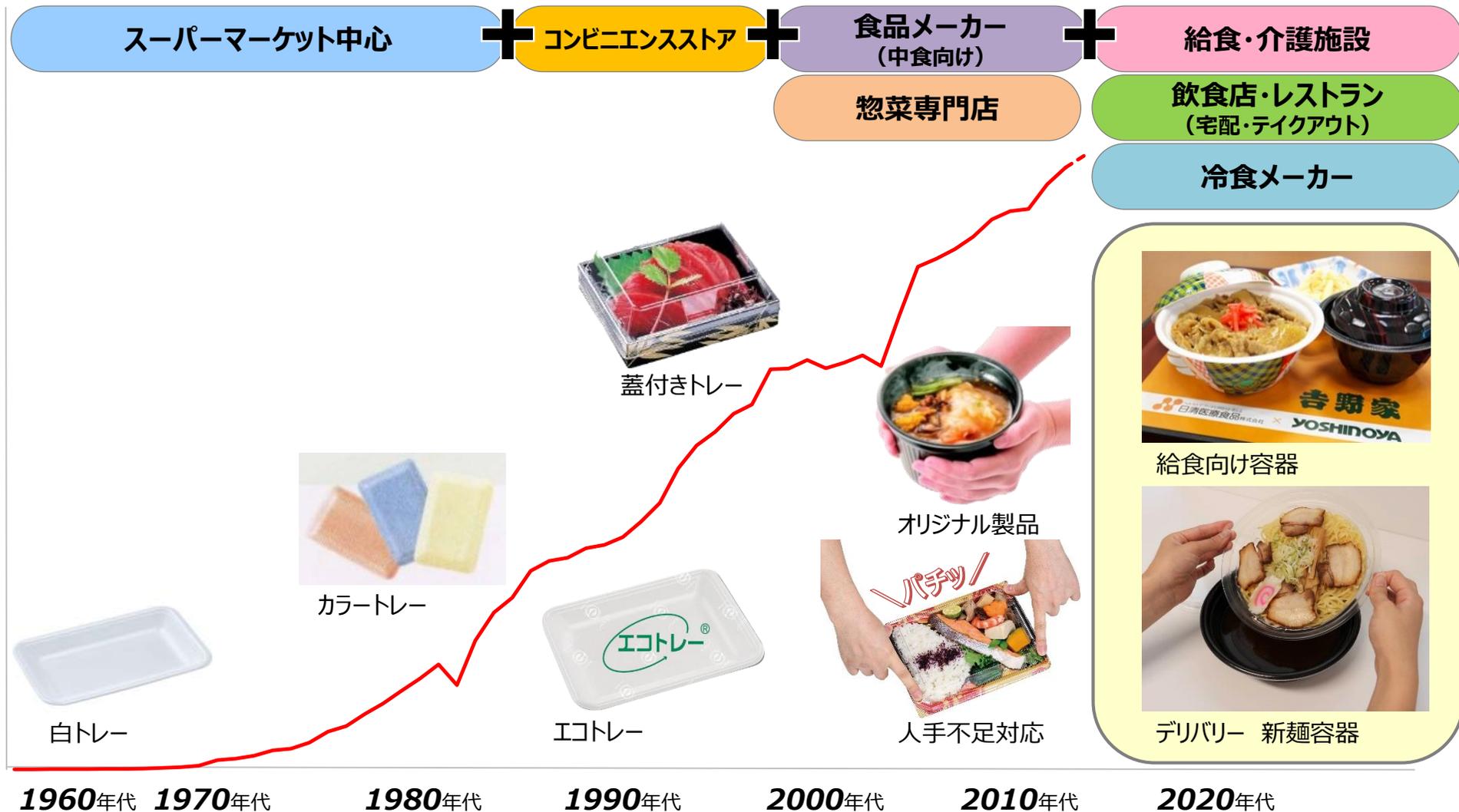
約 **11,600** 億円
 2017年 (見込)



出典：富士経済「高齢者向け食品市場の将来展望2017」

拡大するマーケット

エフピコグループ
売上高



エピコフェア：手間と効率の両立（スーパーマーケット）



手間と効率の両立

手間をかけた商品の魅力追求



出来立て・生から惣菜



外食クオリティ



容器機能で効率改善



盛付けしやすい テープ留め不要 パイレッシュ効率



クレート効率がよい



陳列効率がよい

新たなるマーケット「宅配」

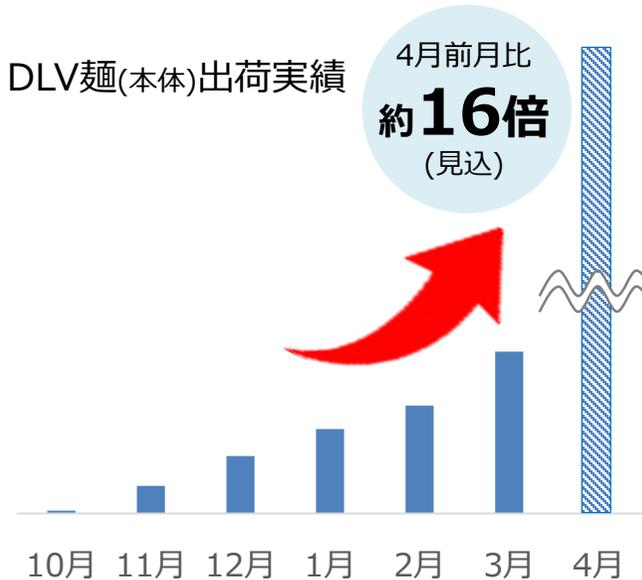


デリバリー特化型容器「DLV麺」共同開発



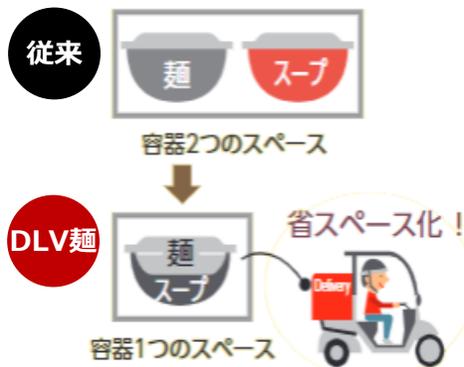
発売以降、順調に拡大中

DLV麺(本体)出荷実績



輸送に適した2つの機能

① 3層式なので
配達効率アップ



② スープがもれにくく、
冷めにくいので安心



新たなるマーケット「病院・介護食」「冷凍」

病院 介護

ヘルスケアフードの明日を考える
日清医療食品株式会社

吉野家 YOSHINOYA MOS BURGER エフピコ



「みんなの日曜日」
提供者数

約**14%**

2019年7月末時点

約**6万人**/約42万人



約**57%**

2019年11月末時点

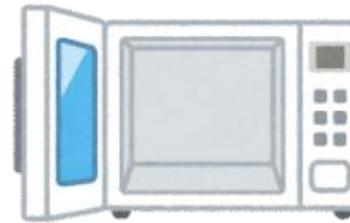
約**24万人**/約42万人

冷凍

加熱時に安全安心MFP

断熱性に優れた「MFP」なら

安全安心



中は熱々でも
外は熱くない



冷凍流通に強いOPET



耐寒性に優れた「OPET蓋」なら

割れにくい

リサイクルの取組み



海洋プラスチック問題 世界と日本の動向

世界の動向

2017年 **中国** 廃棄物輸入規制をWTOに通知

2018年 **G7** 海洋プラスチック憲章

2019年

日本の動向

環境省 プラスチック資源循環戦略

(マイルストーン抜粋)

- ・**2030年**までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル
- ・**2035年**までに使用済みプラスチックを**100%**リユース・リサイクルなどにより有効利用
- ・**2030年**までにバイオプラスチックを**約200万トン**導入

G20 JAPAN 2019



■ 大阪サミット“大阪ブルー・オーシャン・ビジョン”

海洋プラスチックごみによる新たな汚染を**2050年**までに**ゼロ**にする

■ 持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合

政府主催の屋外展示“G20イノベーション展”への**出展企業にエフピコが選定**

必要な対策 陸上から海洋への流出防止

陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量ランキング (2010年推計)



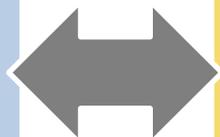
1位	中国	132~353万トン/年	
2位	インドネシア	48~129万トン/年	
3位	フィリピン	28~75万トン/年	
4位	ベトナム	28~73万トン/年	
5位	スリランカ	24~64万トン/年	
	⋮		
20位	アメリカ	4~11万トン/年	
	⋮		
30位	日本	2~6万トン/年	

※環境省資料を参考に当社にて作成

陸上から海洋に流出したプラスチックごみの発生量(2010年推計)を人口密度や経済状態等から国別に推計
(参考) Plastic Waste inputs from land into the ocean(2015.Feb.Science)

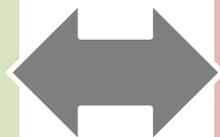
区分して考えるべき課題

海洋プラスチック
ごみ問題



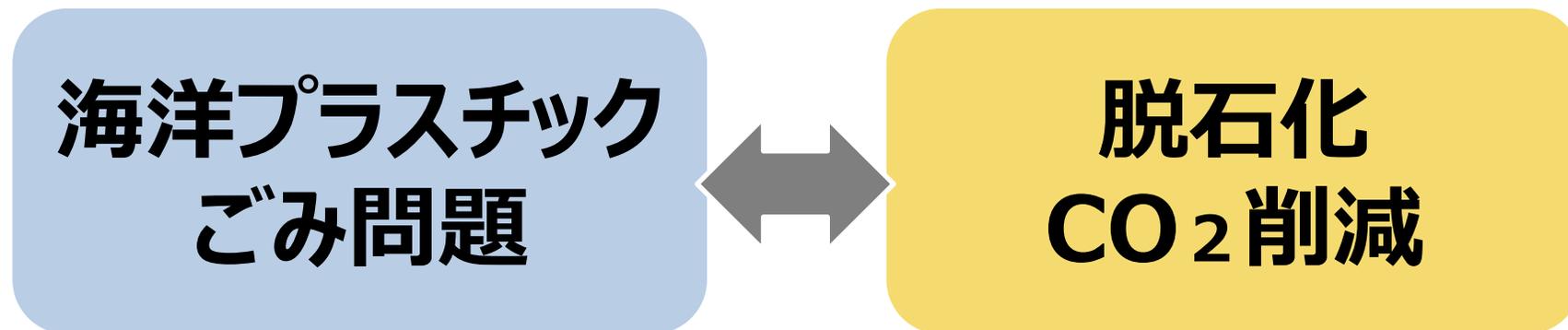
脱石化
CO₂削減

一般廃棄物



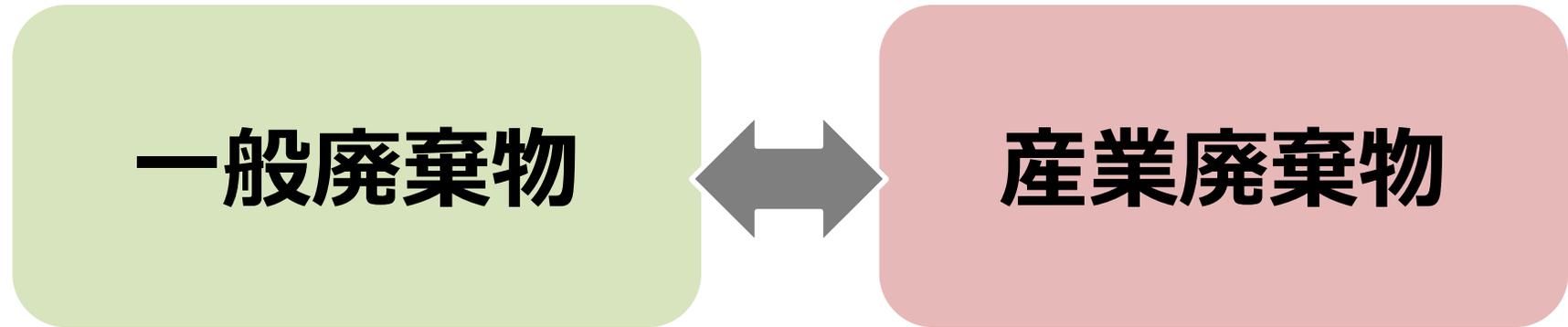
産業廃棄物

区分して考えるべき課題①



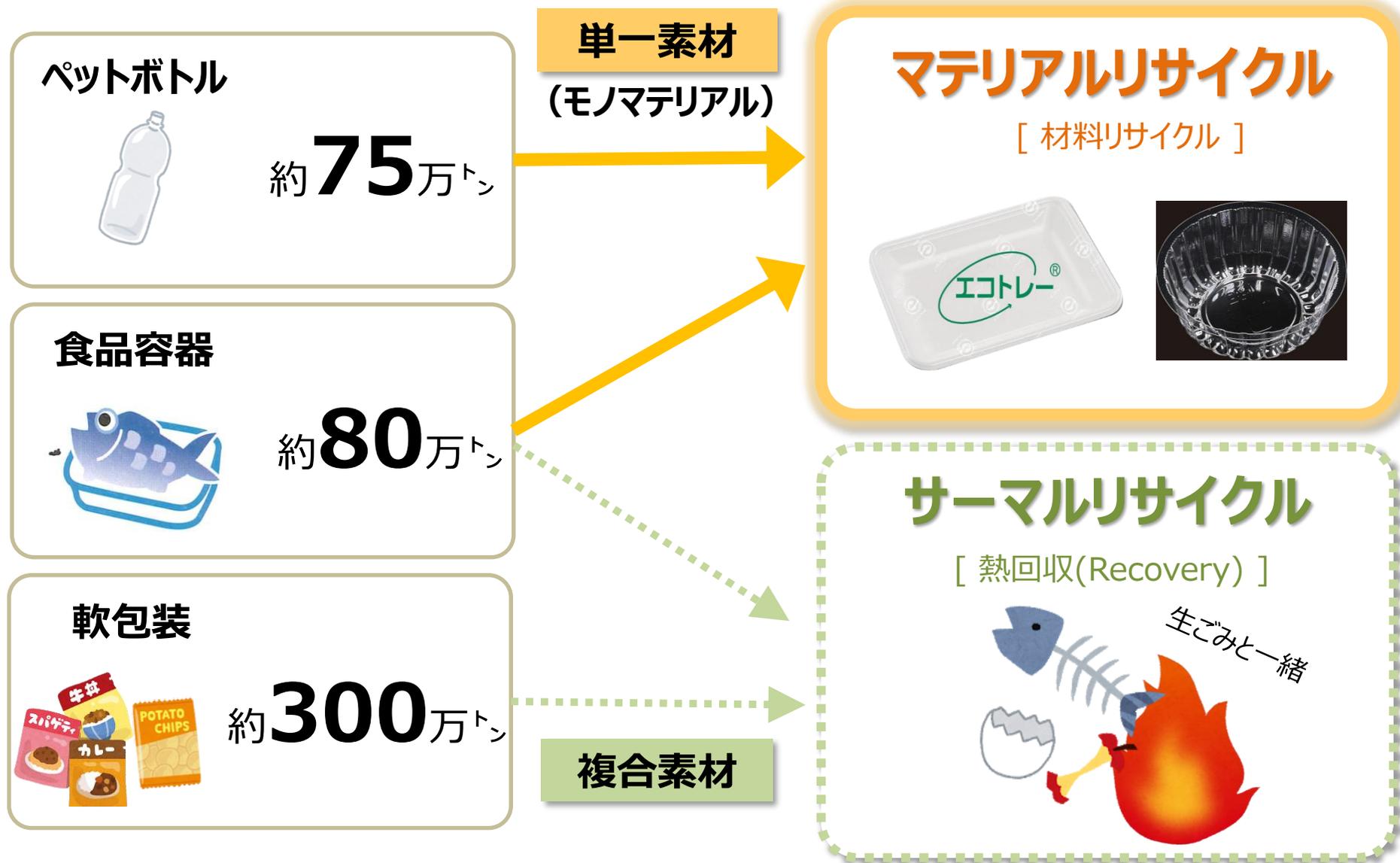
- バイオPE・バイオPETは 石化由来のPE・PETと同じ
⇒ 海洋プラスチック問題の解決にはならない
- 生分解性プラスチックは一部を除いて
海では分解しない

区分して考えるべき課題②

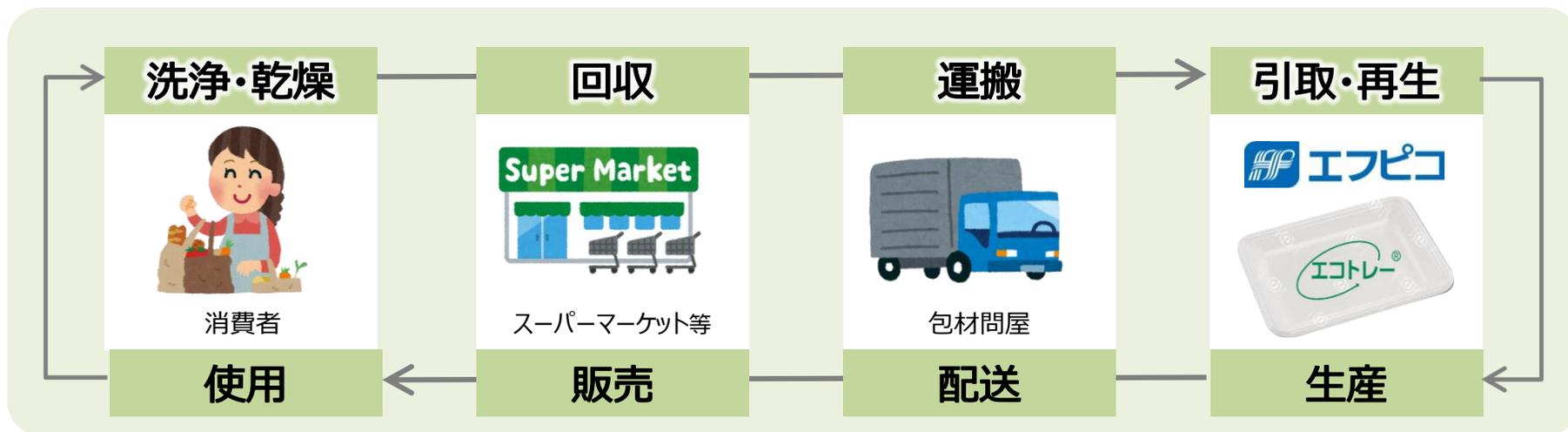


- **一般廃棄物**は自治体で適正に処理されている
生ごみと一緒に焼却
⇒熱の有効利用に課題
- 問題は**産業廃棄物**

家庭ごみ(一般廃棄物)におけるプラスチックのリサイクル



【エフピコ方式のリサイクル】



歴史

- 1980年 広島ゴミ問題
- 1990年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エフピコ方式のリサイクル開始
- 1992年 「エコトレー」の販売開始
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 1997年 京都議定書
- 2008年 透明容器のリサイクル開始
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始
- 2012年 「エコAPET」の販売開始
- 2015年 パリ協定

容器包装から
紙包装へ変更

導入当初

6店舗

回収拠点

福山市・大阪市
からスタート

約30年

2020年3月時点

9,390拠点



リサイクルの啓発活動

<ポスター>



ポスター掲載店舗数の推移



<ステッカー>



プラスチック資源の回収



※枚数・本数換算は、標準的なグラム数にて算出
 発泡トレイ：約4g、透明容器：約10g、PETボトル：約25g

容器
 (PSP・透明容器)

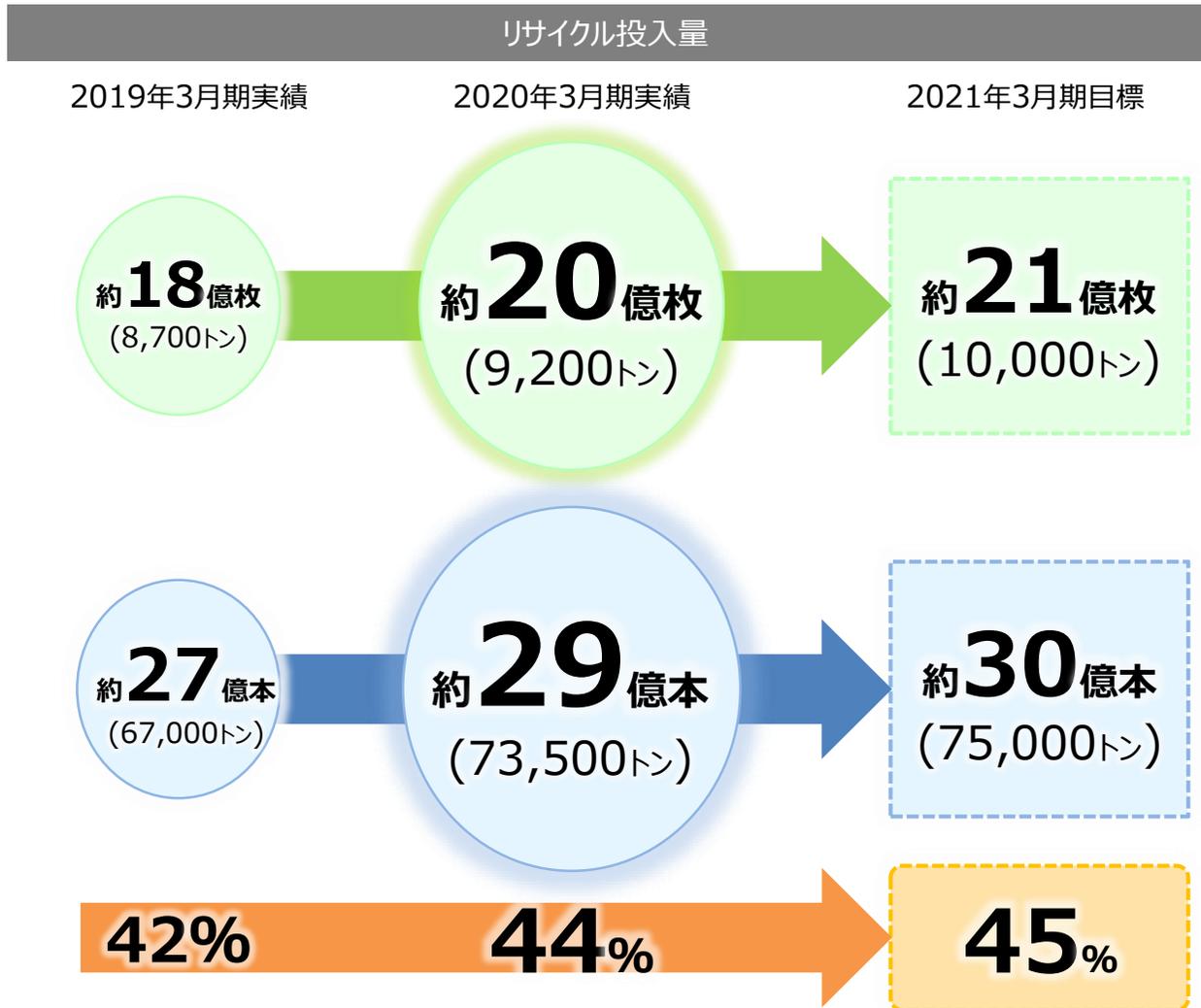
回収ルート
 スーパーマーケット店頭
 指定法人ルート

約**9,390**拠点

PETボトル

回収ルート
 指定法人ルート
 スーパーマーケット店頭
 事業系ルート

製品販売量に対する
 使用済み製品の投入量比率



環境省
 (プラスチック資源循環戦略)

2030年までにプラスチック製容器包装の**6割**をリサイクル又はリユース
2035年までにすべての使用済みプラスチックを熱回収含め**100%**有効利用

エコトレ・エコAPET CO₂削減

CO₂排出量

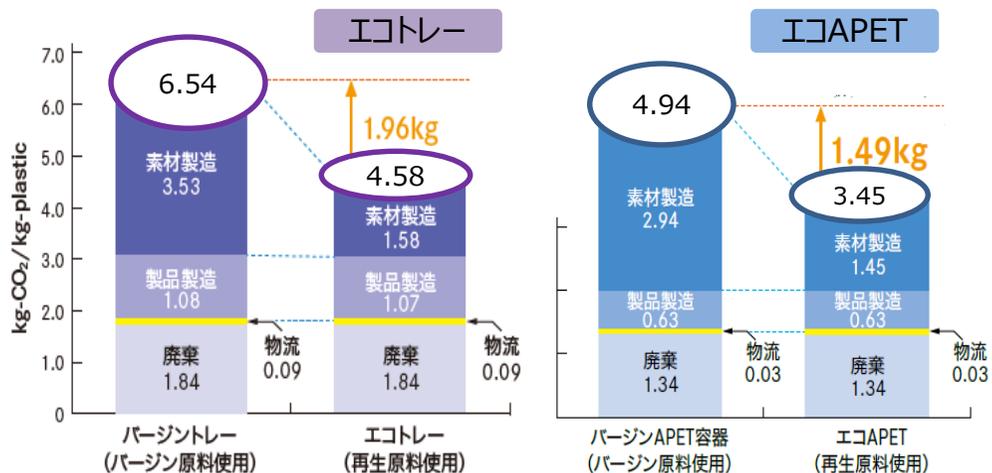
-30%



2020年3月期 CO₂排出量

年間**16万t**削減

(エコトレ 3.7万t/エコAPET 8.0万t/エコPET 4.2万t)

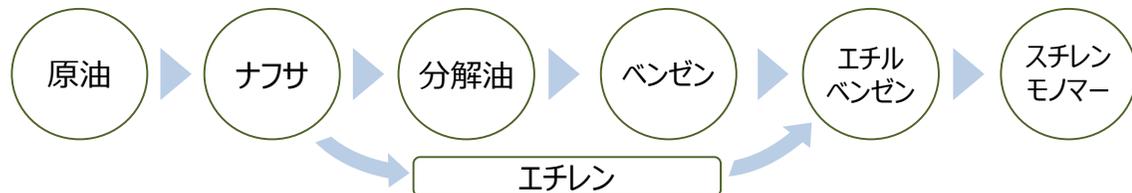


エフピコ製品のLCA (ライフサイクルアセスメント) 比較

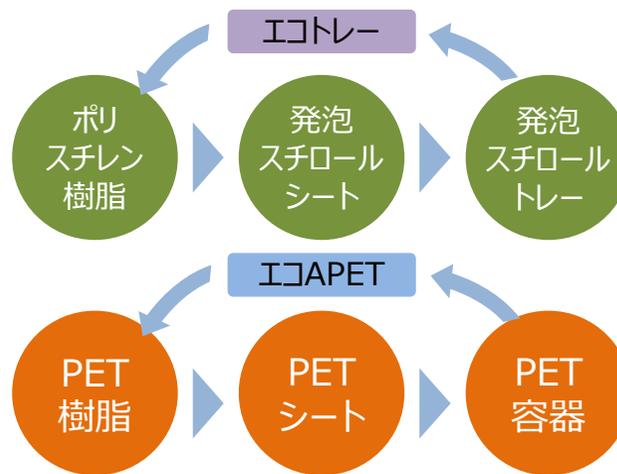
「エフピコ方式」のリサイクルで省ける工程

CO₂を**30%**削減できる

トレーtoトレー

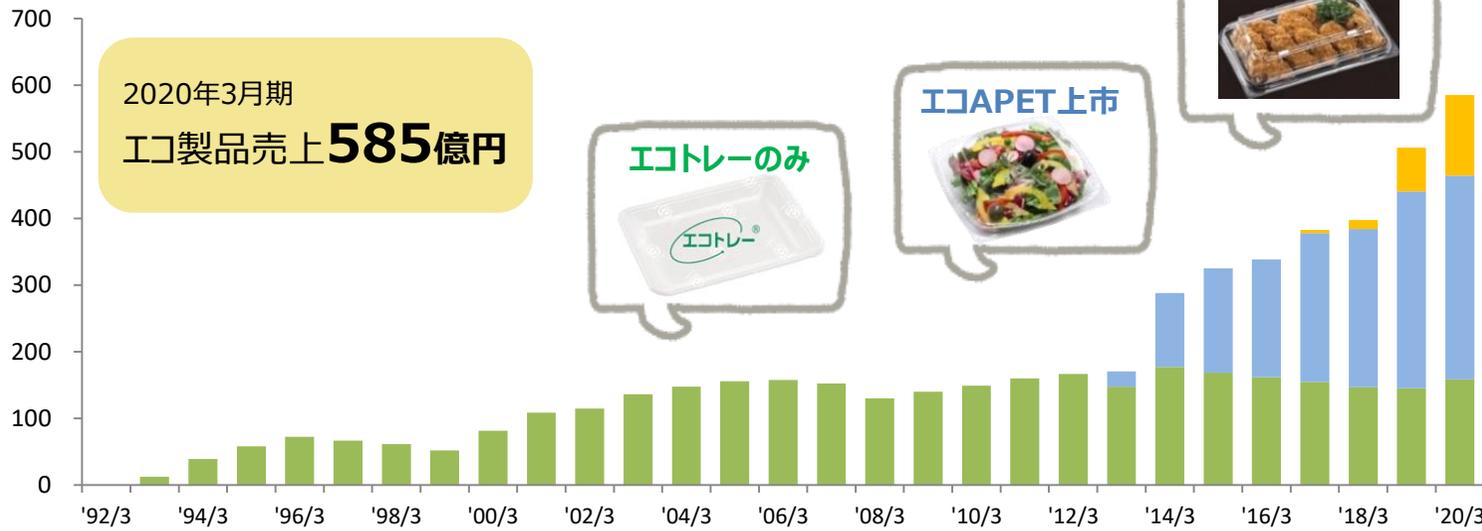


ボトルtoトレー



リサイクル投資 と エコ比率

エコ製品 売上構成比



当社販売製品のエコ比率

関西S社様	78%
関西I社様	67%
関西H社様	61%
中四国M社様	73%
中四国I社様	57%

重量ベース

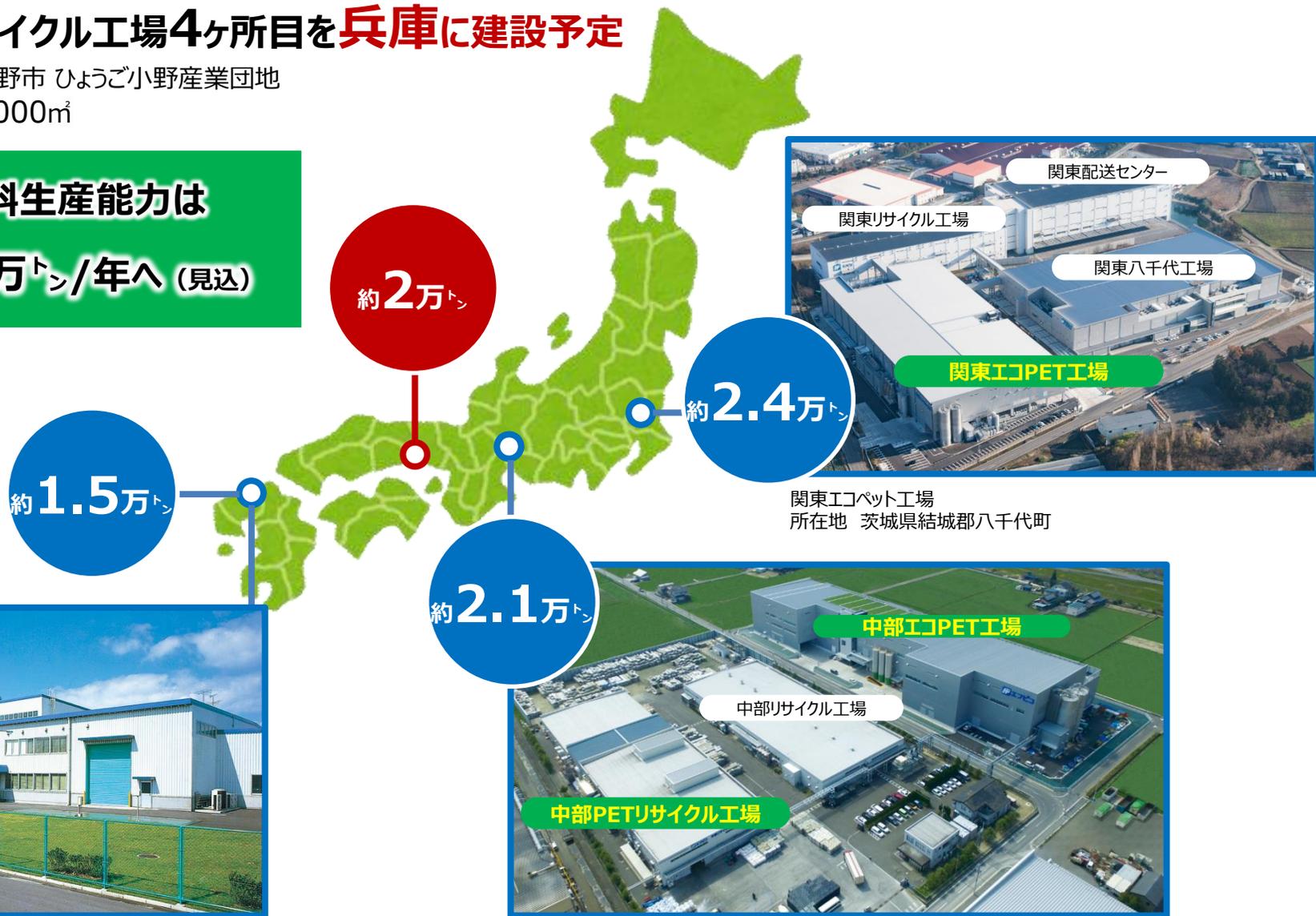
	'11/3期	'12/3期	'13/3期	'14/3期	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'19/3期	'20/3期	'21/3期	...	'24/3期
リサイクル投資 (機械のみ)	中部 29億円				九州 8億円			関東 32億円	九州能力増強 7億円 関東能力増強 1億円		中部 8億円	兵庫 新工場	
再生PET原料 供給能力	1万t	2万t		3万t			5万t		5.7万t	6万t	8万t		
									上期 2.9万t	下期 2.8万t			
製品全体エコ化率			26%	29%	28%	31%	31%	38%	42%	45%		50%	
PET製品エコ化率(OPET含む)			49%	52%	57%	65%	69%	97%	99%	100%		100%	

新工場による再生PETの生産能力増強

PETボトルリサイクル工場4ヶ所目を**兵庫**に建設予定

所在地 兵庫県小野市 ひょうご小野産業団地
敷地面積 約4万8,000㎡

再生PET原料生産能力は
全国で約**8万**トン/年へ(見込)



西日本ペットボトルリサイクル株式会社
所在地 福岡県北九州市若松区響町



中部エコPET工場・中部PETリサイクル工場
所在地 岐阜県安八郡輪之内町南波字村東

エフピコ環境基金の創設

これまでは、各企業による活動



エフピコでは1990年に「エフピコ方式のリサイクル」をスタートして以来、約**30年**リサイクルに取り組み

これからは、企業・団体が一丸となるべき

一企業の活動だけでなく、**各企業・NPO法人・研究教育機関 等**と協力して対処していく



エフピコ環境基金
The FP Corp. Environment Fund

**これからの社会的課題の解決を
テーマに活動する団体へ助成**

<2020年度募集概要>

半期

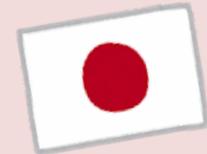
助成対象期間：2020年10月1日～2021年3月31日

申請期間：2020年4月1日～2020年6月30日

助成金額：1案件あたり上限100万円

外部評価

総理官邸の海外向けSNS「JAPANGOV」にて エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」が紹介されました



Facebook

いいね! シェア 編集を提案 ...

Japan - The Government of Japan
3分前

Hiroshima-based FP Corp, Japan's leading manufacturer of plastic food containers, has been a circular recycling pioneer since the early 1990s. Using its factory-to-supermarket circular recycling supply chain, the company collects plastic containers and recycles the raw materials back into Eco Trays for sale. Its efforts reduce both plastic waste and its carbon footprint, cutting CO2 emissions by 30%.

<https://lnky.jp/XohMQpo> #GlobalGoals #Sustainability #CircularEconomy #BeatPlasticPollution



15

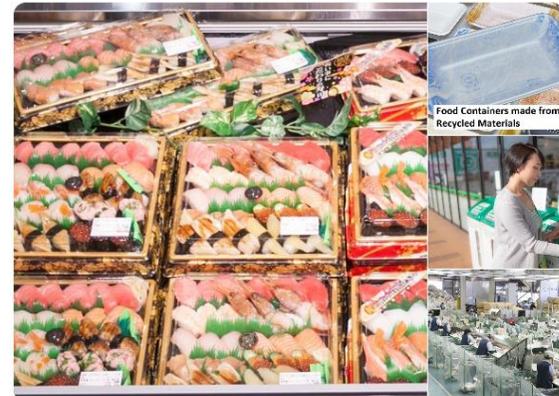
◇和訳

広島に本社を置く日本のプラスチック食品容器製造のリーディングカンパニーであるエフピコは、1990年代前半に循環型リサイクルの先駆けとなった。同社は工場からスーパーマーケットまでの循環型リサイクルのサプライチェーンを利用し、プラスチック容器を回収、原料として再生し、エコトレーとして販売している。この取り組みにより、プラスチックごみを削減するとともに、製品ライフサイクルでのCO2排出を30%削減している。 [英語版HPへのリンク](#)

Twitter

ツイート 8,827
フォロー 353
フォロワー 433,025
いいね 2,347
リスト 6

The Gov't of Japan @JapanGov · 2分
Hiroshima-based FP Corp, Japan's leading food container manufacturer, collects and recycles its trays, reducing plastic waste & its carbon footprint. Learn more: lnky.jp/3acjEA1 #GlobalGoals #Sustainability #CircularEconomy #BeatPlasticPollution



1 7

※Twitter、Facebookより転載

外部評価：直近のテレビ放映



月	番組名		特集内容		
			リサイクル	容器機能	生から惣菜
3月	フジテレビ	「めざましテレビ」			○
6月	NHK	「あさイチ」			○
	TBS	「Nスタ」			○
	関西テレビ	「ウラマヨ」		○	○
	中京テレビ	「キャッチ！」	○		
7月	FBS (福岡放送)	「バリはやッ！ZIP」			○
	山形放送	「やまがたサンデー 5」	○		
	BS朝日	「わかるわかるチャンネル」	○		
9月	日本テレビ	「ヒルナンデス！」	○	○	○
	テレビ東京	「たけしのニッポンのミカタ！」	○	○	
	MBS (毎日放送)	「News ミント！」	○	○	○
	TBS	「グッとラック！」			○
11月	読売テレビ	「かんさい情報ネットten.」		○	○
12月	TBS	「グッとラック！」	○		
1月	日本テレビ	「天才！！カンパニー」		○	
	テレビ東京	「WBS」		○	
2月	NHK BS	「COOL JAPAN」	○		○
	日経CNBC	「トップに聞く」	○	○	
3月	テレビ東京	「WBS」		○	

19回

9回

9回

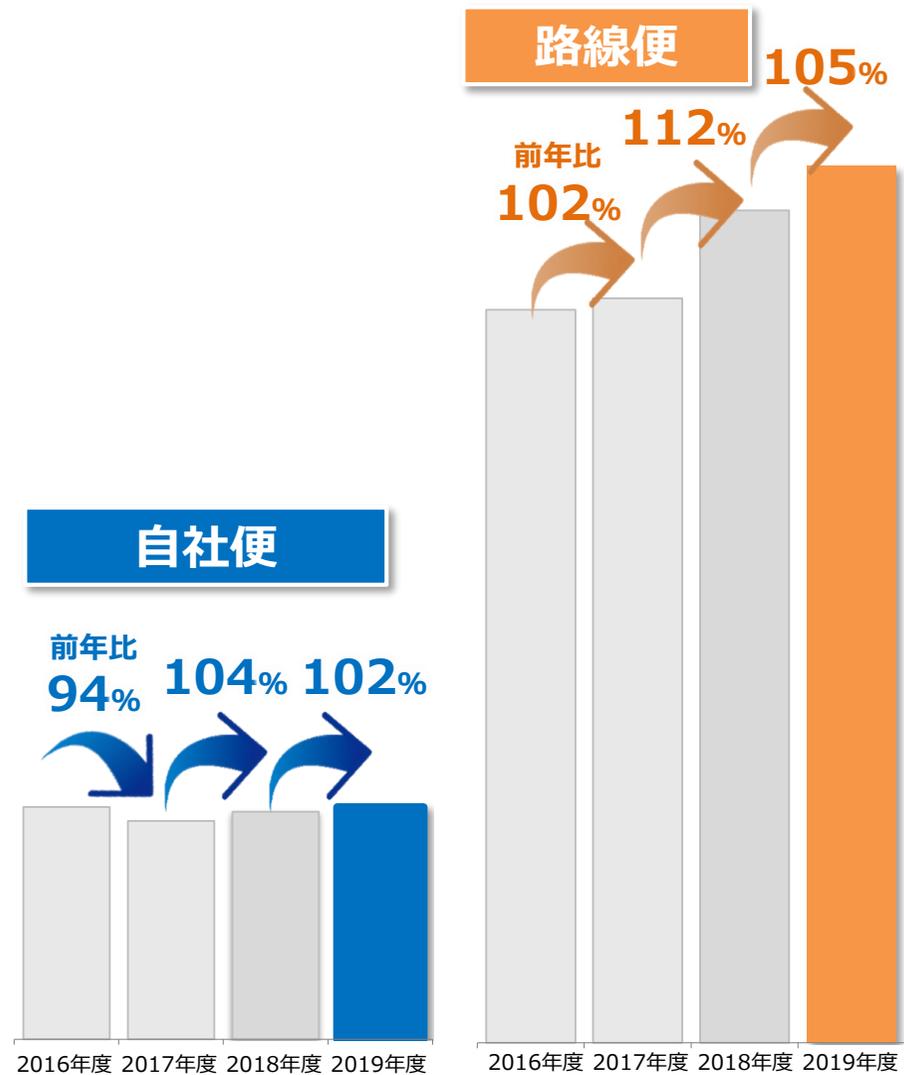
10回

物流・生産・SCM の合理化

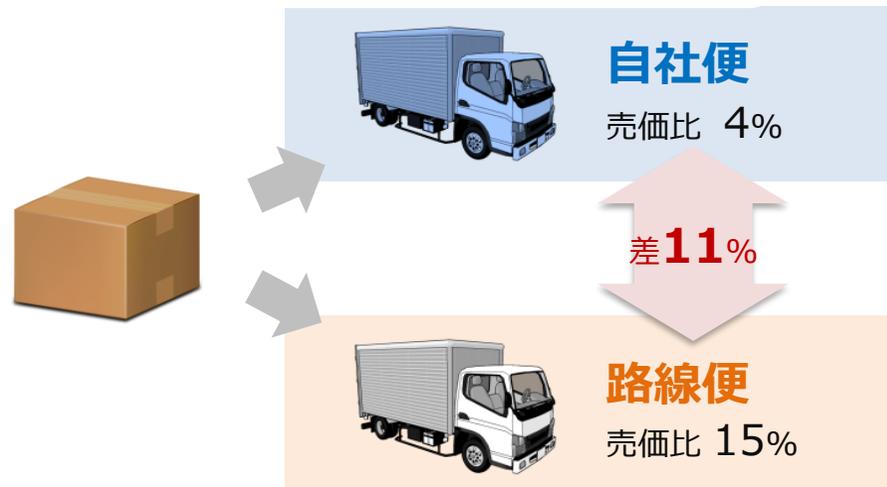


物流費上昇

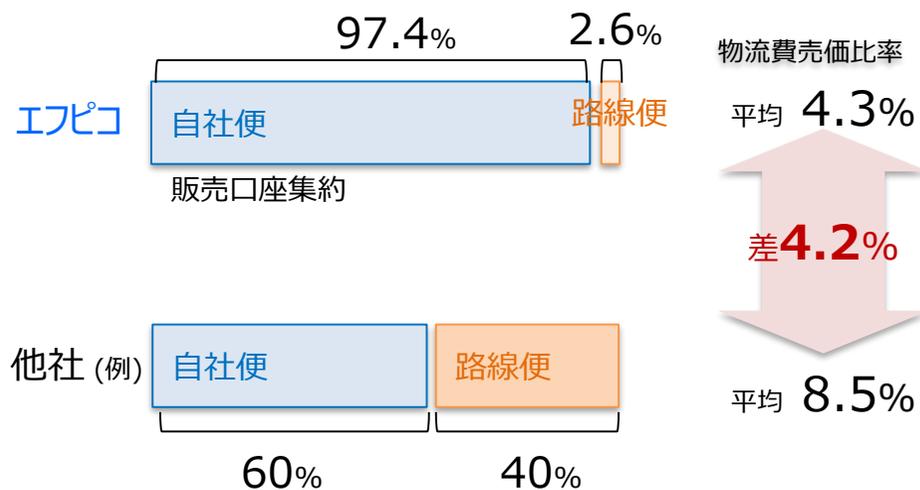
ケースあたりの配送コスト



自社便と路線便 売価比



自社便と路線便 構成比

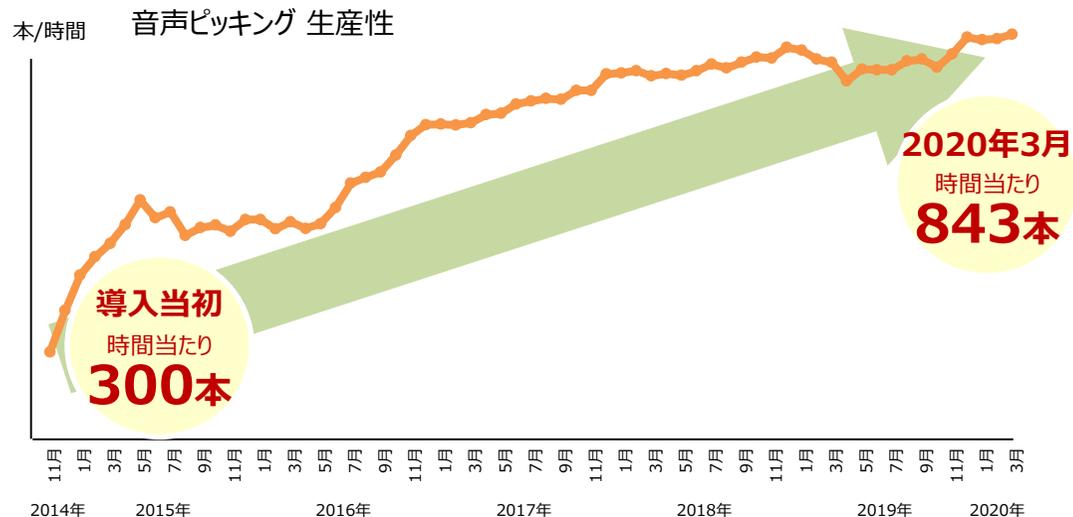


効率改善（物流部門）

音声ピッキング



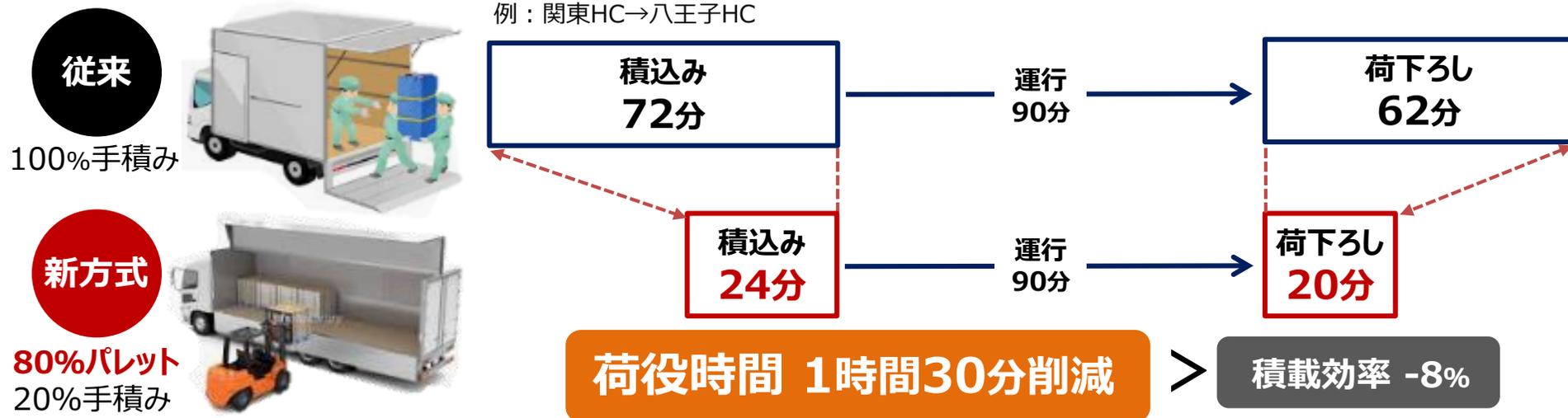
- ① 耳から指示
- ② 両手でピック
- ③ 言葉で応答



パレット輸送（横持ち配送）

2020年3月 5路線で実施

例：関東HC→八王子HC

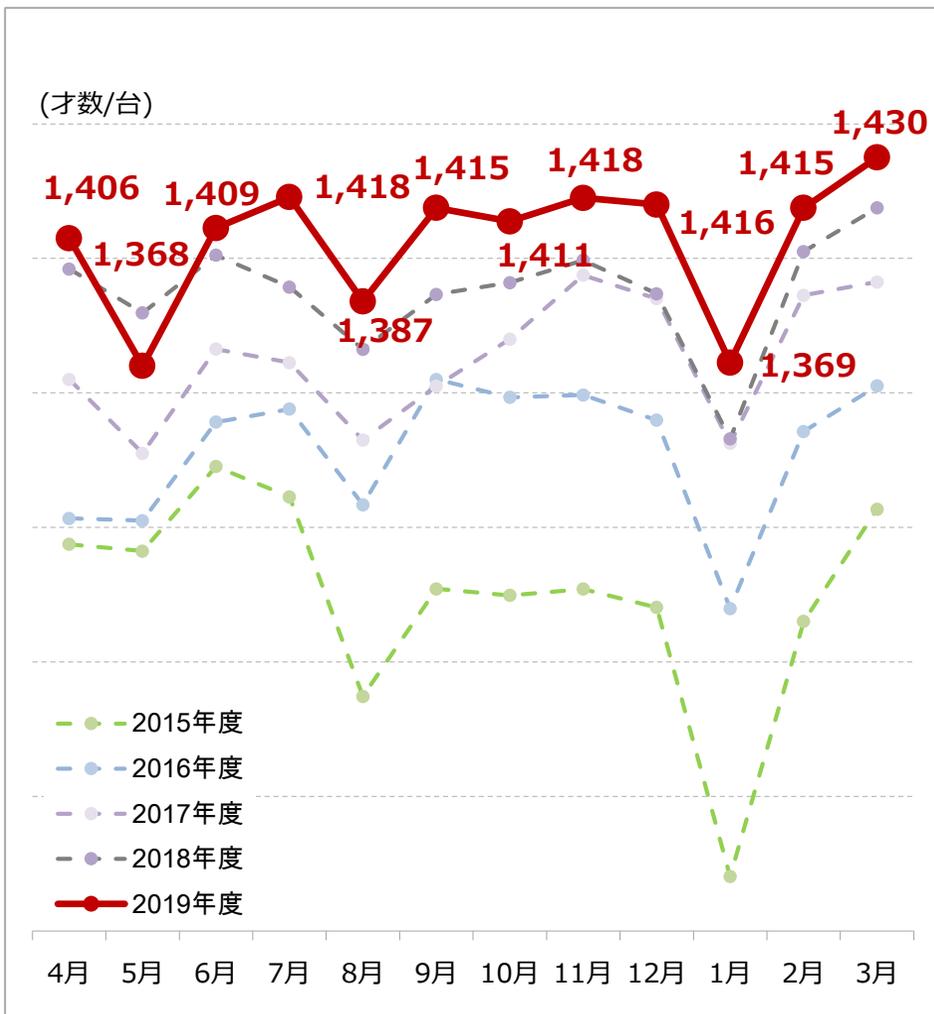


物流費上昇を抑制する取組み (販売配送)

1台あたりの積載効率UP

2020年度
2015年度比

108.1%



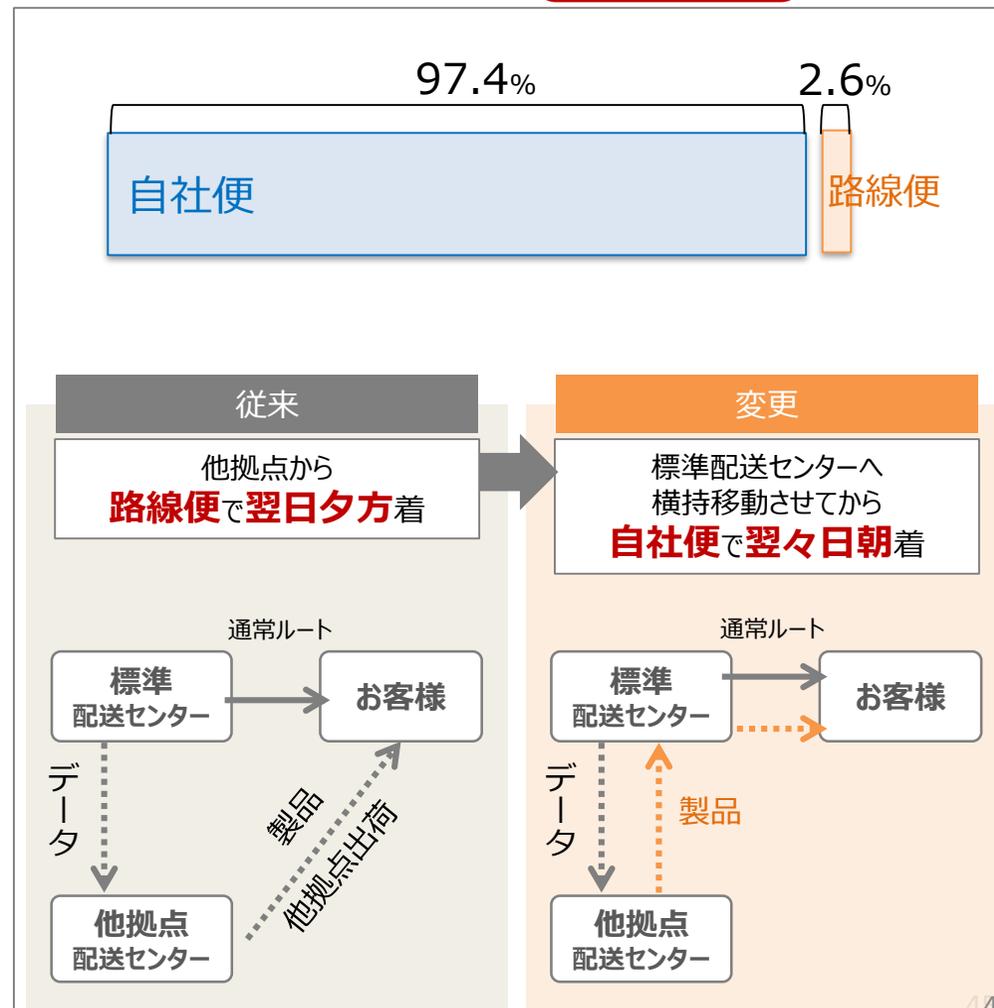
自社便比率UP

2019年3月

97.2%

2020年3月

97.4%



物流ネットワーク増強

九州HC

完成時期：2020年9月
投資額：659百万円
延床面積：3,554㎡



福山HC

完成時期：2020年11月
投資額：4,345百万円
延床面積：23,722㎡



中部HC

完成時期：2021年7月
投資額：5,285百万円
延床面積：27,551㎡

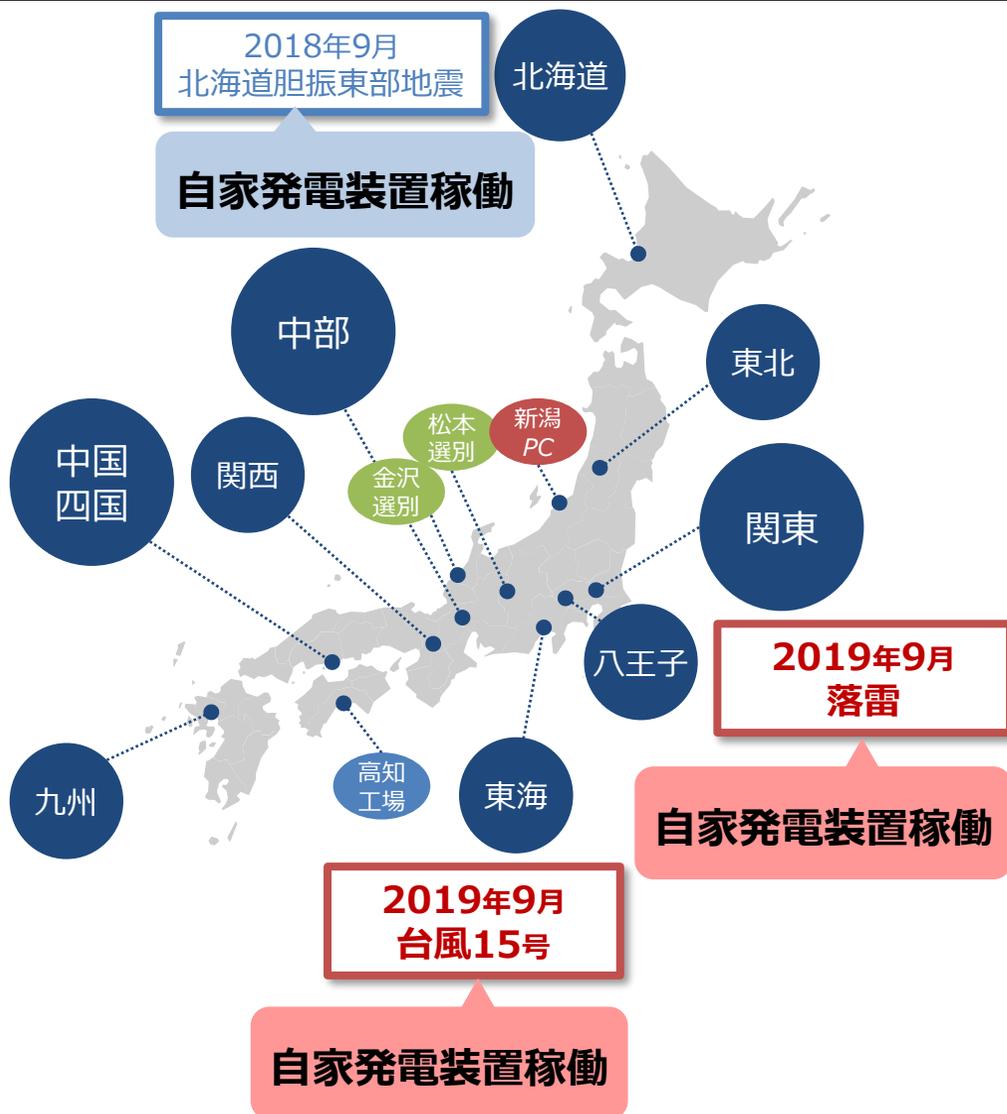


関東・福山・八王子に続き、 中部にソーター(自動仕分)システム導入



自然災害とBCP

直近の自然災害



災害時でも止まらない物流体制 “BCP(事業継続計画)”

- **72時間**の電力供給を確保
- 全国の主要物流拠点すべてに「非常用発電設備」「燃料備蓄」を設置
- 発電稼働を想定した訓練を年2回実施

非常用発電設備



燃料タンク



→グループ会社拠点にも設置検討

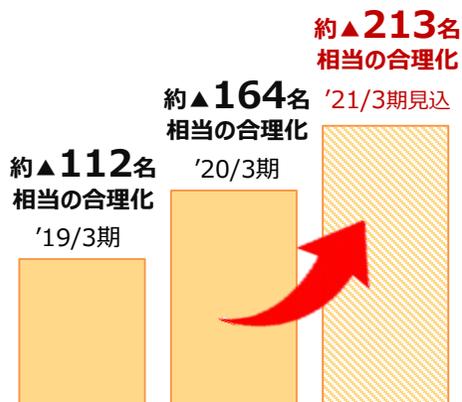
2019年12月
日本政策投資銀行より「DBJ BCM格付」融資

人への投資



人への投資① 自動化

生産部門



- ケース梱包ロボット 23台 → 24台
 - 自動除塵包装機 8台 → 8台
 - 自動包装機 42台 → 58台
- '20/3期 '21/3期見込

物流部門



AGV (無人搬送車)
29台 → 33台

'20/3期 '21/3期見込



AGF (無人搬送フォークリフト)
2台導入見込

'21/3期見込

SCM部門



RPA活用

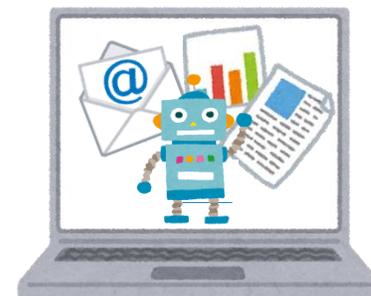
ロボットによる業務自動化

年間 約6,000時間削減

'20/3期

RPA活用 約4,000時間

既存機能・業務見直し 約2,000時間



→年間 約10,000時間削減見込

'21/3期見込

人への投資② 働く環境整備

独身寮PicoHouse



PicoHouse4棟 合計**333戸** (予定)

障がい者グループホーム



「ホーム・COパール」

<見取り図> 1階



地域の学習支援・療育支援などに活用予定



利用者の共同生活住居



制度・基準 変更

1. 2019年3月期
5日間の連続有給休暇取得を義務化
(スマイル休暇)
2. 2020年3月期
一部グループ会社の**退職金制度変更**
3. 2020年3月期
一部グループ会社の**給与水準向上**

女性活躍推進

目標

1. 2019年以降の
女性総合職採用比率
30%以上
2. 2022年までに
女性管理職**50名**の登用



能力を最大限に活かすダイバーシティー経営



選別センター 10事業所



折箱容器組立・二次加工 7事業所



容器製造(発泡・透明) 3事業所

2020年3月時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 358名

障がい者雇用率換算数 : 615名

障がい者雇用率 : 13.3%

障がい者雇用 に関する認定

- 2019年1月 (厚労省)
「H30年度 障害者活躍企業」認証
(エフピコダックス(株))
- 2019年10月 (東洋経済新報社)
「障がい者雇用率ランキング」 2位
※2014年~2017年 4年連続1位



お客様の障がい者雇用をサポート

エピコのサポートで
お取引様を中心に

50事業所667名

の雇用が生まれました
2020年3月末時点

精肉の下味付け



農産品の加工



青果の検品・計量



惣菜加工



コンテナ洗浄



タオルの洗濯



海産物選別



古紙減容



フロアホッケー活動 障がいの有無を超えた交流



フロアホッケー活動 に関する受賞・認定・登録

- 2019年3月 (東京都)
「心のバリアフリー」サポート企業として登録
- 2018年12月 (スポーツ庁)
「スポーツエールカンパニー」認定
- 2018年11月 (東京都)
「東京都スポーツ推進企業」認定
- 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター)
第3回「企業ボランティア・アワード」受賞



外部評価

フットー
ESG指標「FTSE4Good Index Series」及び
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定 (2019年6月)



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

ロンドン証券取引所グループの「FTSE Russell」が開発した、環境・社会・企業統治 (ESG) に対して優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを反映するインデックス

世界の**1034社**の中の1社がエピコ

日本の**179社**の中の1社がエピコ

性別多様性に優れた企業を対象に構築される
「MSCI 日本株女性 活躍指数 (WIN)」に継続選定 (2019年6月)



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



「MSCI」社が開発、職場において高いレベルで性別多様性を推進する企業を対象に構築

外部評価



受賞理由

- ✓ エフピコ方式のリサイクルを広く普及させた実績
- ✓ 障がい者雇用への取り組み

「The Japan Times Satoyama & ESG Awards 2019」受賞

里山里海の利活用や、ESG投資の普及推進に
顕著な功績のあった企業・団体を表彰

受賞者

【ESG部門】

年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）

株式会社エフピコ

株式会社丸井グループ

【Satoyama部門】

片山健也氏（ニセコ町長／北海道）

坪内 知佳氏（㈱GHIBLI 船団丸 代表／山口県）

特定非営利活動法人ウルシネクスト（岩手県）

鳥取県

成長戦略



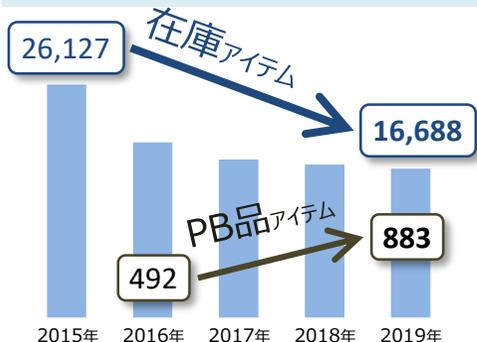
エフピコグループのインフラ

商品仕入

MD

アイテム選定、在庫集約
PB商品の充実

エフピコ商事



エフピコグループ インフラ

グループ問屋

地域に密着した営業力

エフピコインターパック
エフピコ上田
エフピコイシダ
アペックス

エフピコみやこひも

各地域の有力問屋

全国の物流
ネットワーク

情報
システム

包装資材のECサイト“パックマーケット”

エフピコグループのインフラ活用

パックマーケット **PACK MARKET**



MD品

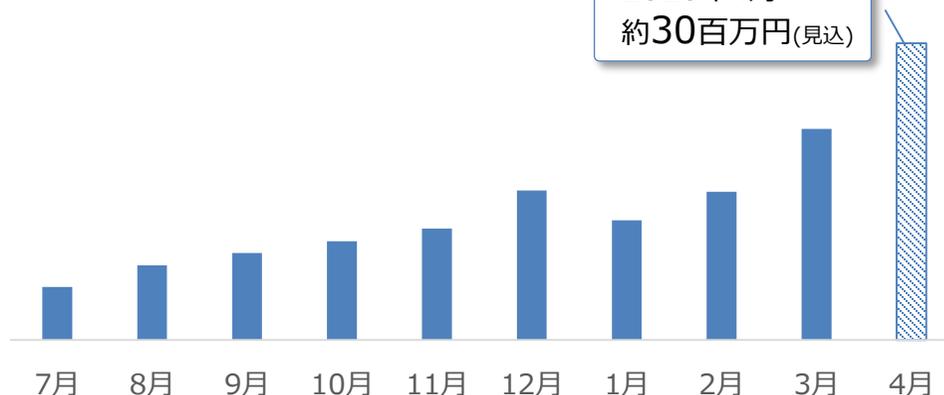
物流

小規模小口顧客
テイクアウト需要拡大

スタート以降、順調に拡大中

パックマーケットの販売実績

2020年4月
約30百万円(見込)



新型コロナウイルス影響による需要増加

デリバリー・テイクアウト容器

衛生用品



設備投資・キャッシュフロー

営業キャッシュフロー

● 設備投資 180~200億 目途

中長期的な成長に向け、高付加価値製品の供給体制を充実

【重点投資分野】

- ・世界初となる新素材の製品化に向けた投資
- ・エコ原料、エコ製品の市場要請

● 連結配当性向 30% 目途

安定的かつ継続的な配当実施
1株当たり利益の最大化

● 自己株式の取得

株価水準により判断

● 有利子負債調整

有利子負債の有効活用と安全性の確保



エプコの成長戦略

海外 検討

M&A 検討

成長戦略②

宅配マーケット
冷食マーケット
資材・消耗品マーケット

長期計画
売上 **3,000**億
経常利益 **300**億

成長戦略①

電子レンジ対応容器
人手不足対応容器
青果容器

中期計画
経常利益 **200**億

2020/3期
売上 **1,863**億
経常利益 **162**億

2012年
エコAPET上市

2005年
東京証券取引所1部上場

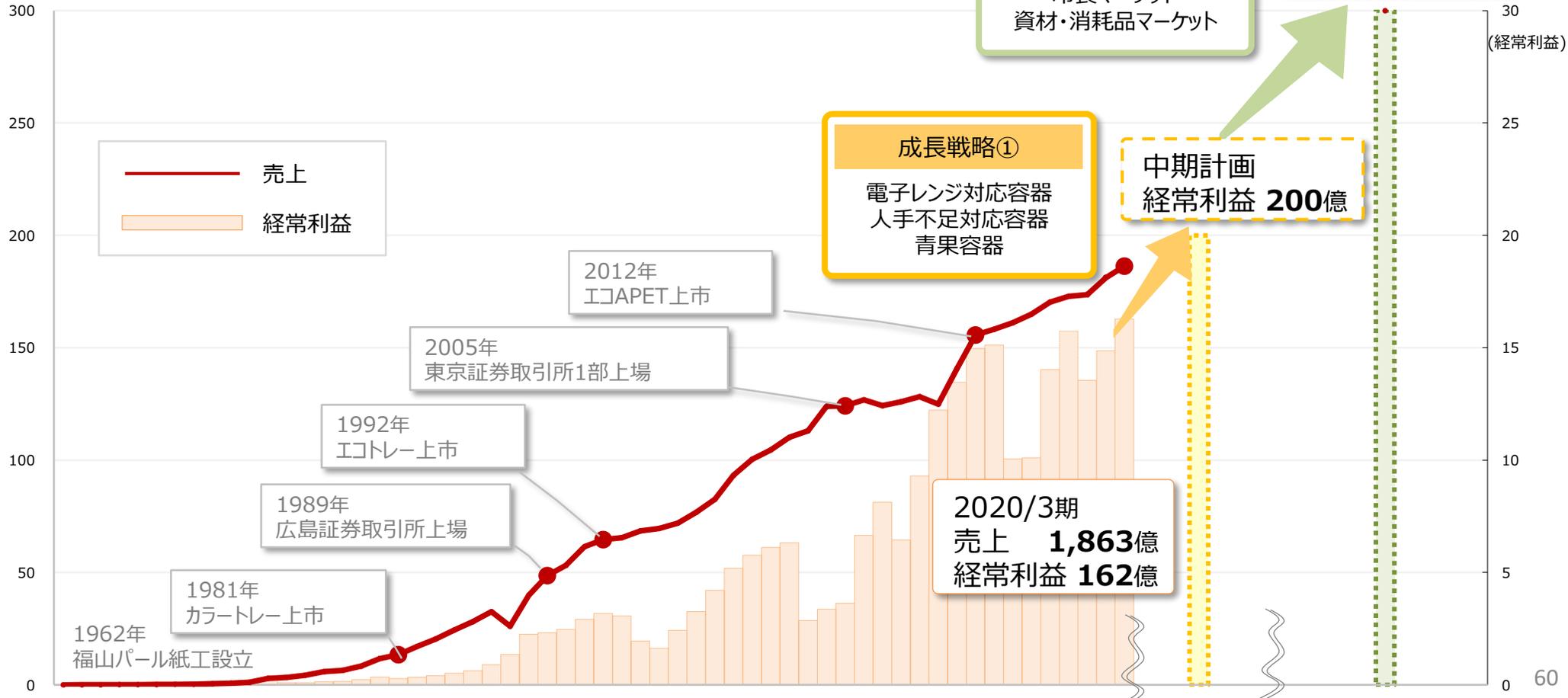
1992年
エコトレー上市

1989年
広島証券取引所上場

1981年
カートレー上市

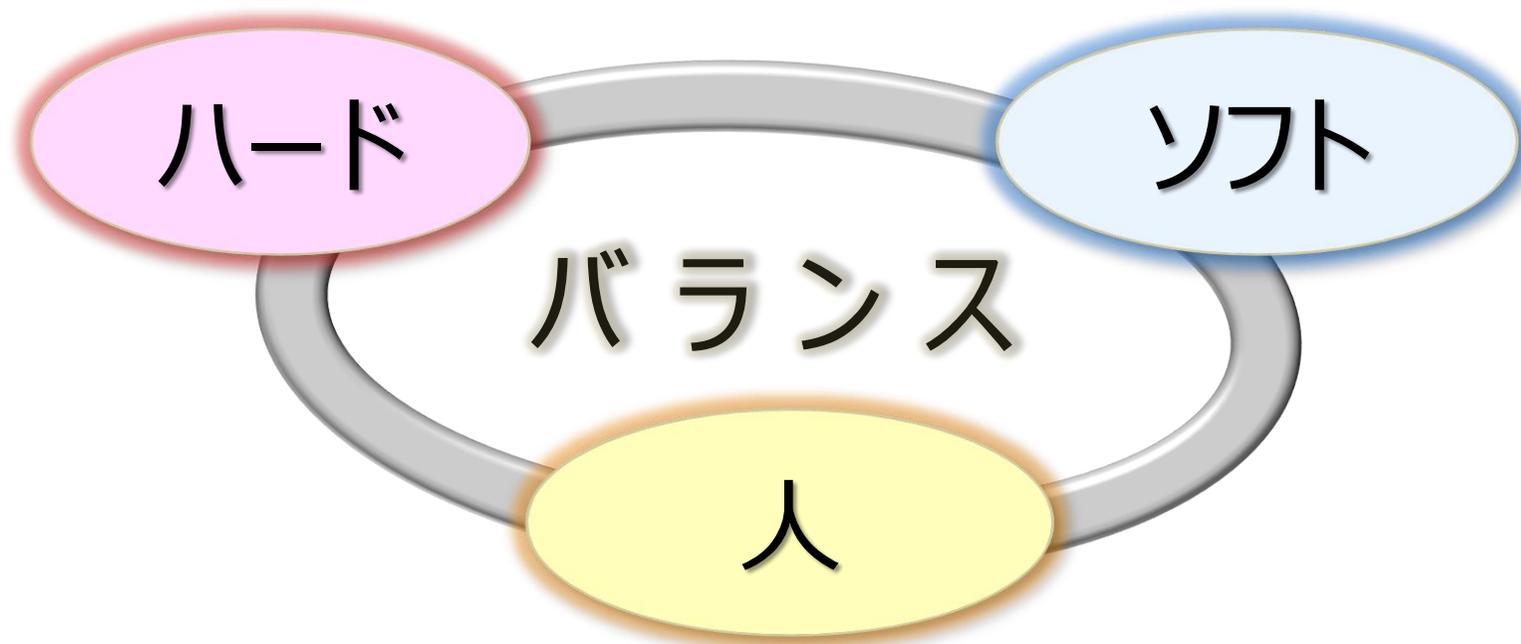
1962年
福山パール紙工設立

(売上) 単位: 10億



企業価値拡大に向けて

「もっとも高品質で環境に配慮した製品を
どこよりも競争力のある価格で
必要なときに確実にお届けする」



FPCO-DNAを継承し、「現場主義」・「顧客第一主義」のもと
一歩先を見通した提案をし続けます

添付資料

用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP (MFP) 容器 : -40℃~+110℃の耐寒・耐熱性、耐油性及び断熱性に優れた発泡PS (ポリスチレン) 容器 (2010年販売開始)

マルチソリッド (MSD) 容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器
耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

OPS容器 : 従来からの二軸延伸PS (ポリスチレン) シートから成形した透明容器 耐熱温度+80℃

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET容器 : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とする
リサイクルPET (ポリエチレンテレフタレート) 透明容器 耐熱温度+60℃ (2012年販売開始)

エコOPET容器 : エコAPET容器と同じ原料を使用する二軸延伸PETシートから成形したリサイクルOPET透明容器
耐油性に優れ、透明度も高くOPS容器と同等の耐熱性を実現 耐熱温度+80℃ (2016年販売開始)

配送センター : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

世界初の 素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP: ポプロピレン

- ☆ 耐熱性がある: +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い

新透明PP

- ☆ 耐熱性がある: +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等



PS: ポリスチレン



PSP: 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 軽量化が可能
- ☆ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +80℃
- ★ 耐油性に劣る



MFP: マルチFP

: 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 断熱性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 幅広い温度帯をカバー
-40℃ ~ +110℃
- ☆ コシ強度がある
- ☆ 軽量化が可能



マルチFP端材の循環

MSD: マルチリッド

: 非発泡PS

OPS: 二軸延伸PS

- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性: +80℃
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

PET: ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 最後発 樹脂
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60℃
- ★ 比重が大きい

OPET: 二軸延伸PET

- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等: +80℃
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい



'11/3期 > '12/3期 > '13/3期 > '14/3期 > '15/3期 > '16/3期 > '17/3期 > '18/3期 > '19/3期 > '20/3期

2010年2月 マルチFP (MFP) 製品 上市



2012年2月 マルチソリッド (MSD) 製品 上市



2012年5月 エコAPET 製品 上市



2010年11月

中部PETリサイクル工場

2014年6月

西日本ペットボトルリサイクル

2016年3月

中部エコペット工場

2017年8月

関東エコペット工場

2012年11月 OPET 製品 上市



2012年7月

関東八千代工場

2012年6月 新透明PP製品 上市

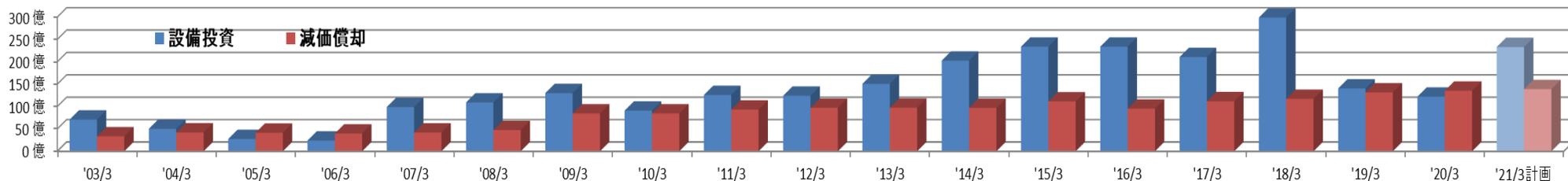


設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期	'20年3月期	'21年3月期 計画		
生産	山形工場				下館第二工場			太洋興業日本ハル容器 ダイワース					「エフピコ 総合研究所」								
					中部第二工場			ウダ工場 フードパック設備 アルライト							中部エコベット工場	関東エコベット工場				兵庫新工場	
						九州第二工場		北海道工場増設		関東八千代工場							自動化			透明容器の強化	
物流	東日本ハブC				関東八千代C							九州物流拠点			音声ピッキング					九州HC拡充	
	九州HC							新福山PC				関西物流拠点								福山HC拡充	
	関西HC							新中部PC				福山クロスドック								中部HC拡充	
	北海道HC					北海道HC				関東PC拡充		八王子配送C								物流ネットワーク整備	
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場 新リサイクルネットワーク構築						NPR						関東・九州能力増強 中部ベレット化	
								中部 PETメカニカルリサイクル													PETリサイクル事業 強化
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物	ユカ商事			九州物流 拠点土地	八王子 拠点土地			みやこひも	ワンルームタイプ社宅	フィルム工場			ワンルームタイプ社宅 グループホーム	
						関東新工場土地	中部地区土地・建物	インターパック			関西物流 拠点土地						フィルム印刷工場				

単位: 百万円

	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	14,038	12,214	23,300
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	13,442	11,688	22,850
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	595	525	450
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	1,462	1,756	1,874
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,170	13,532	13,900
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,159	1,229	1,312



>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

環境省 プラスチック資源循環戦略

カナダ・シャルルボアG7サミット 「海洋プラスチック憲章」

代替品が環境に与える影響の全体像を考慮し、使い捨てプラの不必要な使用を最大限に削除する。

2030年までに100%のプラスチックが、再使用可能、リサイクル可能又は、実行可能な代替品が存在しない場合には、熱回収可能となるよう産業界と協力する。

2030年までにプラスチック包装の最低55%をリサイクル又は再使用し、2040年までには全てのプラスチックを熱回収含め100%有効利用するよう産業界及び政府の他のレベルと協力する。

適用可能な場合には、2030年までにプラスチック製品においてリサイクル素材の使用を少なくとも50%増加させるべく産業界と協力する。

環境省 プラスチック資源循環戦略 「マイルストーン」

リデュース

消費者はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、代替品が環境に与える影響を考慮しつつ、**2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）をこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制**するよう目指します。

リユース・ リサイクル

2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを、容器包装・製品の機能を確保することとの両立を図りつつ、技術的に分別容易かつリユース可能又はリサイクル可能なものとするを旨めます。（それが難しい場合にも、熱回収可能性を確実に担保することを旨めます。）

2030年までに、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクルするよう、国民各界各層との連携協働により実現を旨めます。**2035年までに、すべての使用済みプラスチックをリユース又はリサイクル、それが技術的経済的な観点等から難しい場合には熱回収も含め100%有効利用**するよう国民各界各層との連携協働により実現を旨めます。

再生利用・ バイオマス プラスチック

適用可能性を勘案した上で、政府、地方自治体はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、プラスチックの再生利用(再生素材の利用)を倍増**するよう目指します。

導入可能性を高めつつ、国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、バイオマスプラスチックを最大限（約200万ト）導入**するよう目指します。

関連省庁・団体との連携

関連省庁・団体の活動

エフピコの参加状況

環境省

- **プラスチック資源循環戦略**
…2019年6月のG20で、日本の「プラスチック資源循環戦略」をアピール
- **プラスチック・スマート**
…“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、国内外に発信

- 業界団体として小委員会に参加
- キャンペーンHPにて「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の取組を掲載

経済産業省

- **クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス**
…廃棄物の適正管理、プラスチック製品の3Rの取組など海洋プラスチック問題の解決に向けたイノベーションを推進する企業連合

- 技術部会 副部長会社としてアライアンスに参加

農林水産省

- **プラスチック資源循環アクション宣言**
…食品産業の業界団体・企業から、自主的取り組みを募集

- 農林水産省HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

日本経済団体連合会

- **SDGsに資するプラスチック関連取組事例集**
…プラスチックの資源循環をより一層推進するとともに海洋プラスチックごみ問題に貢献する観点から、企業・団体による取組事例を収集

- 日本経済団体連合会HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

イニシアティブ

- **気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative)**
…脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加することを宣言し、気候変動対策に積極的に取り組む団体のネットワーク

- 設立時より参加表明

最新鋭の 生産～物流～リサイクル をご覧いただけます。

関東

JR東日本 古河駅～30分



OPET生産設備

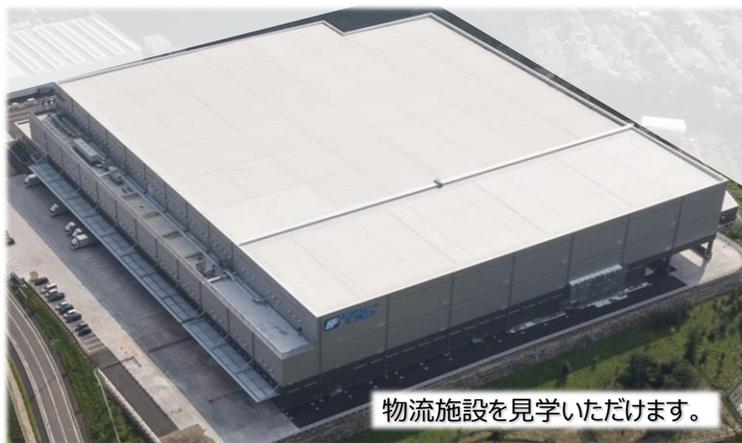


関東エコPET工場
2017年8月完成



八王子

JR東日本 秋川駅～20分



福山

JR西日本 福山駅～30分



中部

JR東海 岐阜羽島駅～20分



PET効力リサイクルプラント×2